

### お客様情報

一生涯のパートナー

第一生命

DLS

Dai-ichi Life Group

Dai-ichi Life Group

## 第一生命保険株式会社 第一生命情報システム株式会社



1902年、日本で初めての『相互主義の保険会社』として設立。第一生命グループの「お客さま第一主義」の経営理念は、創業から115年以上の時を経て、今も社員一人ひとりに刻まれ、ビジネスの隅々にまで行き渡っている。第一生命情報システムは、第一生命グループのIT戦略を担い、「システムソリューション」「事務サービス」の両面から多様な保険業務に対応した数多くのシステムを開発、運用している。

### お客様の課題

ファイル連携の仕組みを社内で共通化し、セキュアかつ柔軟な基盤を構築したい

### 導入製品

HULFT HULFT-HUB

DataMagic

### 導入効果



安全かつ柔軟な  
ファイル連携  
の実現



データ蓄積や  
ログなどの  
一元管理



大容量の  
ファイル転送  
環境の構築

## システムの柔軟性とセキュリティの維持に向けたファイル連携基盤をHULFTで構築

1000万人を超える個人顧客を抱える国内屈指の生命保険会社である第一生命保険株式会社では、社内に展開する各システム間および社外とのやり取りで発生するファイル連携の標準としてHULFTを採用し、HULFT-HUBによって社内のファイル連携基盤を構築。また、DataMagicによってメインフレームとオープンシステム間のコード変換を実現しており、これまで個別に構築されてきた社内外のファイル連携の仕組みをセゾン情報システムズのソリューションで統合することに成功している。

### 背景 マイナンバー制度への対応に向けてファイル連携基盤の整備が急務に

一生涯のパートナー「お客さま第一主義」を経営理念に掲げて国内外で生命保険事業を展開している第一生命保険株式会社。顧客一人ひとりのQOL(Quality of life)向上を目指し、時代のニーズに合った商品やサービスを提供している。現在取り組んでいる中期経営計画「CONNECT 2020」では、QOL向上に資する商品戦略を強化する国内生保事業を中心に、海外生保事業やアセットマネジメント事業、事務オートメーション化を推進するイノベーションの創出を掲げ、強力で事業を推し進めている。

そんな会社では、以前から分散する社内システム間や取引先など社外とのファイル連携に、さまざまな仕組みを用いてきたとITビジネスプロセス企画部 IT運用管理課 次長 吉留 栄太氏は振り返る。「インフラそのものはバラバラでも、アプリケーション開発時には社内申請のプロセスを設け、ファイル連携の方法や運用は標準化していました。いずれはインフラを含め共通化したほうが時代の変化にも対応しやすく、柔軟な基盤として運用できるのは間違いなく、潜在的な課題となっていたのです」。

そんな状況の中で新たに登場したマイナンバー制度がきっかけとなり、ファイル連携の仕組みを共通化したうえで、HUBとなる基盤を中心に据えてファイル連携できる基盤を構築しようと考えたのだ。

### 導入 生保業界での実績と運用の簡素化への期待が決め手

そこで同社が目指したのが、生保業界でも多くの実績を誇るHULFTだった。第一生命情報システム株式会社にて社外とのファイル連携を中心に運用している基盤システム第一部 基盤開発第二グループ 担当リーダー 高野 辰也氏は「実は社外とのやり取りについては、マイナンバー運用を検討する以前からHULFTを利用していました」と説明する。社内外での実績から、HULFTが早い段階から候補に挙がっていたのだ。

特にHULFTに注目したのは、安全なファイル連携という視点だった。「これからはインターネット上でのやり取りが発生する機会も増えます。ファイル連携の仕組み自体で暗号化できる仕掛けがあるべきだと考えたのです」。実は以前社外とのファイル連携に利用していた仕組みが暗号化に未対応であり、社内のファイル連携に利用してきた仕組みも大容量のファイルが送れないといった制限があったこともHULFT採用に傾いたポイントだった。

集中的に管理可能なHULFT-HUBの存在も採用の決め手の1つだった。「HULFT-HUBであれば、定義を配布するだけで各システムに反映できますし、ログそのものも一元管理できます」と高野氏。長年インフラを担当してきた吉留氏も、「当たり前のように連携できる、しっかり動いてくれる仕組みが必要でした」と語る。

結果として、同社が目指す社内外のファイル連携の共通基盤としてHULFTおよびHULFT-HUBが、そしてメインフレームとオープン系でのファイル連携に欠かせない文字コード変換のソリューションとしてDataMagicが採用されることになる。



**HULFT活用によって、当たり前のように安全なファイル連携を実現している。これこそが大きな導入効果です。**

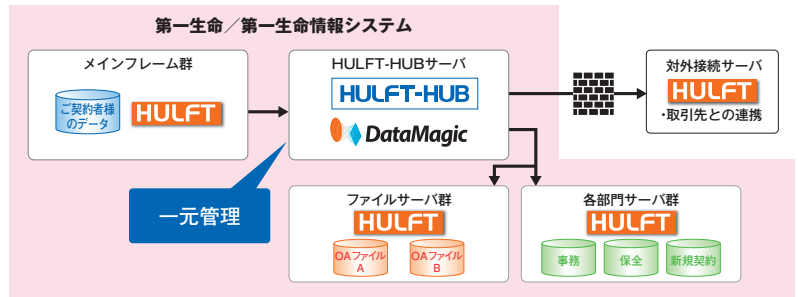
— 第一生命保険株式会社  
ITビジネスプロセス企画部  
IT運用管理課 次長  
吉留 栄太氏



**HULFT-HUBで一元管理することで詳細レコードの調査をはじめ、様々な業務の効率が向上しました。**

— 第一生命情報システム株式会社  
基盤システム第一部  
基盤開発第二グループ 担当リーダー  
高野 辰也氏

## HULFT-HUBを中心としたファイル連携基盤



## 効果 社内外のファイル連携の基盤として安全な伝送路の確保を可能にしたHULFT

現在は100あまりの環境とのファイル連携の基盤としてHULFT-HUBを設置し、ファイル連携が必要なシステムが更改を迎えるタイミングでHULFTを順次実装していく流れだ。「最終的には3~400ほどのシステムに導入し、現在の4倍近くの規模に拡張する予定です。向こう数年間でHULFT-HUBを中心としたファイル連携基盤が整備できます。安心して利用できる基盤がHULFTによって用意できました」と吉留氏。

既存システムからの移行については、コード変換テーブルの制限など一部で苦労した面はあったものの、送達確認も含めて安全確実にファイル連携できる基盤として評価の声が挙がっている。「既存で利用してきたファイル名をそのまま活用でき、開発を行うアプリ部門からも好評です」と高野氏。あまり複雑に設定せずとも連携が可能だけでなく、最低限の項目だけを調整すれば社外との連携も可能だ。「項目が多くてもパフォーマンスを考慮しながら調整できるなど、奥深い商品」と評価する。

今回HULFTを活用することで、安全な伝送路の確保ができた点は大きな効果だと吉留氏は力説する。「大きいのは、将来起こり得るリスクを抑制できた点です。我々にとってはインフラとして特別に意識することなくファイルを正常に連携できる、いわば電気やガス、水道と同じようなレベルに至っています」。

高野氏が注目するのは、調査のしやすさだ。「HULFT-HUB ManagerのGUIからすぐに調査でき、詳細レコードの下にその原因まで記載されています。回答までのスピードは速くなっているのは間違いない」と評価する。連携に関する定義ファイルもCSVさえ作成すればそれを全ての環境に一括適用するだけで済み、今後も連携先が増えても負荷は上らず、効率的な運用が可能になったと高野氏。

具体的な構想はこれからだと前置きしたうえで、今後、クラウド活用の際にはHULFTのような安全なファイル連携ができるツールが必要になるはずだと吉留氏。また、HULFT-HUBが持つデータ蓄積機能によって、時差が発生する海外の取引先とのやり取りにも対応できる環境をすでに整えている。現状国内に閉じたファイル連携だが、グローバルを見据えた基盤としても活用できる環境が整備されている状況だ。

運用の視点から高野氏は、さらに使いやすい仕組みとしてのHULFTの進化に期待を寄せている。「全銀プロトコルにおけるベーシック手順と全銀TCP/IP手順のサポート終了など、環境の変化によってHULFTがますます利用されるはず。運用者としてさらに使い勝手のいい機能が実装されることを望んでいます」と語った。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(T.M.®)を付記していません。

**HULFT**

**株式会社 セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:30~17:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

URL [www.hulft.com](http://www.hulft.com) e-mail [info@hulft.com](mailto:info@hulft.com)

**HULFT事業部**  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1  
赤坂インターシティAIR 19F  
TEL 03-6370-2310

**中部事業所**  
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19  
住友生命名古屋ビル 21F  
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

**HULFT Pte. Ltd.**  
80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #36-15  
Singapore 048624  
TEL +65-6248-4625 FAX +65-6248-4501

**Saison Information Systems CO., LTD**  
**EMEA Office**  
6th Floor, First Central 200, 2 Lakeside Drive  
London, NW10 7FQ, United Kingdom

**西日本事業所**  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16  
肥後橋MIDビル 4F  
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

**九州サテライトオフィス**  
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27  
九勤博多駅前ビル  
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

**HULFT, Inc.**  
1820 Gateway Drive,  
Suite 120 San Mateo, California 9440480  
TEL +1-650-393-4930

**世存信息技术(上海)有限公司**  
中国上海市长宁区天山西路1068号D栋3楼B单元  
TEL +86-21-6239-9201 FAX +86-21-6239-9321